

新任の先生をご紹介します!

2022年4月に着任された先生方からメッセージをいただきました。



キム ミョウキョン
金 昴京 先生

안녕하세요! 韓国のソウル出身です。言語習得と摩滅、再習得について研究しています。言葉には、その言葉を使ってきた人々の考え方や文化が込められています。言語を学ぶ中で、新しい考え方や文化に触れる楽しさや、視野が広がっていく喜びをぜひ経験してみてください。よろしくお願いします。



キム ムニ
金 文姫 先生

研究分野は、近世期日朝対訳教材です。2008年来日して東京、千葉、大阪、長崎を経て今年名古屋に来ました。愛知、名古屋について色々教えてください。みなさんに会えて本当に嬉しいです。みなさんと楽しく韓国語を勉強したいです。よろしくお願いします。



コウ ヒ
高 飛 先生

専門は言語教育、第二言語習得です。言語の学習は、積み重ねで、大変ですが、言語を道具にして、新しい世界を発見することができます。みなさんもぜひ母語と外国語で、他の国や地域の人と積極的に交流しましょう。みなさんの中国語の学習をサポートします。よろしくお願いします。



しまづ ゆき
島津 侑希 先生

大学は知識だけを身につける場所ではありません。ぜひ様々な経験をして、多様な人と交流し、充実した学生生活を送ってください。新しいことに挑戦するには勇気が必要だと思います。そんな時はいつでも相談してください。国際協力やアフリカ地域に興味がある方も、ぜひお気軽にお越しください。よろしくお願いします。



なかむら まりえ
中村 真里絵 先生

専門は文化人類学と地域研究(東南アジア、主にタイとラオス)です。これまで、東京、名古屋、大阪(再び名古屋)に住んできて、日本の地域性にも関心を持つようになりました。大学生活では、様々なことに挑戦しつつ、自分の関心を深めていき、卒業後の人生の基礎となる生きる力を身につけてください。どうぞよろしくお願いします!



のぶかわ けいこ
信川 景子 先生

専門分野は観光産業の人的資源管理、特に組織内の能力開発支援や人材育成のメカニズムを研究しています。大学では、今まで知らなかったことに出会ったり、興味のあることを探究できたりと、わくわくすることがたくさんあります。みなさんの知的探究の活動にしっかりと伴走していきたいです。よろしくお願いします。



やの かおる
矢野 郁 先生

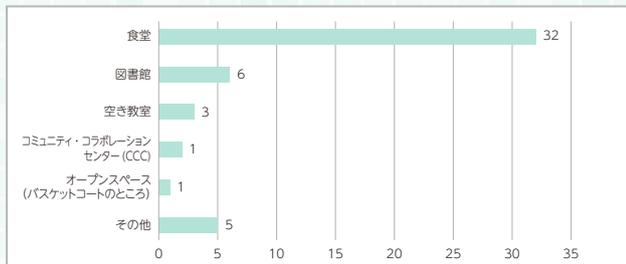
専門は演劇を教育にどのように活かすかを研究する「演劇教育」です。アメリカでのミュージカルパフォーマー、インターナショナルスクールのDrama Teacher、そしてITスペシャリストやキルギス共和国での国連ボランティアなど、ユニークな経験をしていますので、留学やボランティア、就職についてなど、色々なお話ができると思います。気になる人は、いつでも声をかけてください。

様々な専門分野の先生方が着任され、
今後は非常に楽しみです。
先生方、どうぞよろしく
お願いいたします。



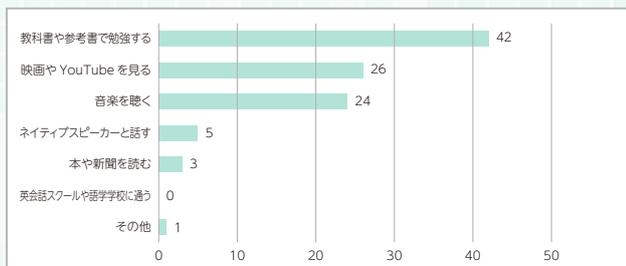
交流文化学部のみなさんに聞きました! “みんなの学生生活”

Q1 空きコマの時間に星ヶ丘キャンパス内でよく利用する場所はどこですか?



多くの学生が食堂と回答! 私も空きコマの時間には、よく食堂を利用します。お昼休みと比較して混んでいないため、自主学習や友人とコミュニケーションを取る際には過ごしやすく、お気に入りの場所になっています!

Q3 語学はどのように勉強していますか?
(複数選択)



「教科書や参考書で勉強する」が最も多いですが、映画やYouTube、音楽などを活用する勉強方法も多く見られました。それぞれ自分に合った勉強方法で、これからも語学学習を頑張っていきましょう!

Q5 Q4で「はい」と答えた人に質問です。
その理由はなぜですか?
(自分の意見に近いものを選んでください)(複数選択)

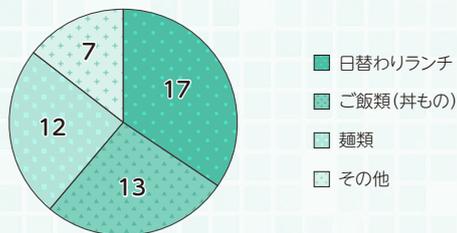


留学生と関わることは、学生生活において貴重な経験になると思います。たくさんコミュニケーションを取って仲良くなったり、お互いの文化を共有し合ったりして、楽しい時間を過ごしてください! …とはいうものの、緊張してしまう人もいますよね。そんな時は、挨拶など簡単なことから始めてみるのも良いかもしれません。留学生と関わりたいという気持ちが大切だと思います!



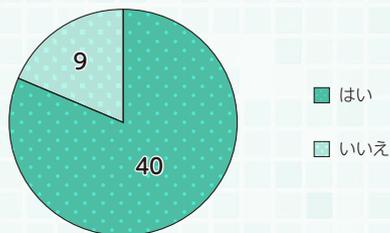
多くの交流文化学部の学生が、コミュニケーション能力や異文化の人々に関する知識など「違いを共に生きる」ためのスキルを身につけたいと考えていることに気づきました。また、アンケート調査から、留学生と関わりたいと感じている学生が多いことを知り、とても共感しました。私自身も留学生とコミュニケーションを取りたいと思っているため、もっと自発的に行動して彼らと交流していきたいと思いました。(佐々木)

Q2 学食で好きなメニューは何ですか?



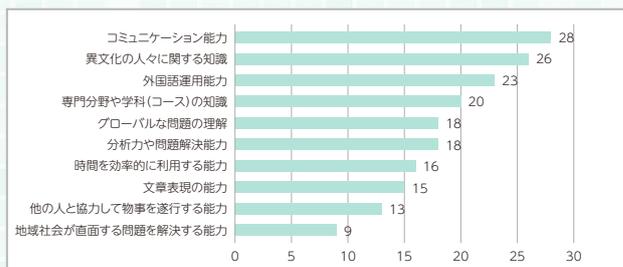
日替わりランチが若干多いですが、どのメニューも学生から人気だということが分かりますね。学食のメニューは種類が豊富でどれも美味しいので、まだ食べたことのない人はぜひ利用してみてください!

Q4 大学内には留学生がいますが、積極的に関わりたいと思いますか?



大部分の学生が「はい」と回答! 海外に行けなくても外国の方と関わることのできるの、星ヶ丘キャンパスならではの良いところですね。

Q6 卒業までに身につけたいスキルは何ですか?
(複数選択)



グローバル化の発展に伴い、交流文化学部のみなさんが身につけたいと感じているスキルは、これから更に重要視されると思います。自分の身につけたいスキルを学びながら、充実した学生生活を送ってくださいね!



他の人が学生生活をどのように過ごしているのか気になっている人が多いと思います。そこで私たちは、みんなが知りたいことは何だろうという視点からアンケートを作成しました。コロナの規制が徐々に緩和され、学内にも賑わいが戻ってきています。今まで制限されていて、やりたくてもできなかったことに挑戦してみませんか?! (大宮)

アンケートに協力してくれた学生のみなさん(ランゲージ専攻11名・国際交流観光専攻38名)、
ありがとうございました!

留学生のみなさんにインタビューをしました!



愛知淑徳大学で学んでいる多くの留学生。

今回、私たちはオーストリア、フランス、そしてドイツ出身の留学生3名にインタビューをしました!



名前: ピーター・ジョルジー
(Peter Georgy)
出身: オーストリア
学部: グローバル・
コミュニケーション学部
学年: 2年生
年齢: 23歳

Q1 日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか?

A. オーストリアと違う日本の文化に興味を持ったことです。

Q2 日本の好きな文化は何ですか?

A. 日本人の礼儀正しさと親切さです。

Q3 日本で学びたいことは何ですか?

A. 日本語のコミュニケーションについて学びたいです。

Q4 将来の夢は何ですか?

A. オーストリアで会社を設立して、自立したセールスマンになりたいです。

Q5 今回の留学経験を今後の学生生活や将来にどのように生かしたいですか?

A. 日本人とのコミュニケーションを通して自身のソーシャルスキルを向上させ、将来に役立てたいです。

Q6 出身地のおすすめの食べ物は何ですか?

A. カイザーシューマレンというオーストリアのデザートがおすすめです。

Q7 日本の大学とオーストリアの大学、または日本人学生と外国人学生の違いは何だと思いますか?

A. 大きく二つあります。一つ目は、授業についてです。オーストリアではすべて必修科目なので、授業が選択できる日本の大学は自由度が高く羨ましいです。二つ目は、性格についてです。ヨーロッパの学生は一般的にみんなと違っていたいという思いがあるため、それぞれが個性的な意見を持っています。日本の学生にはそういう傾向が見られませんが、困っていたら助けてくれるところが良いところだと思います。

Q8 最後に一言どうぞ!

A. オーストリアにぜひ来てね!



名前: ノア・ロエー
(Noah Louaye)
出身: フランス
学部: グローバル・
コミュニケーション学部
学年: 2年生
年齢: 21歳

Q1 日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか?

A. 日本の文化と歴史が好きで、日本に来る良い機会だと思ったことです。

Q2 日本の文化で好きなものは何ですか?

A. 言語、食べ物、伝統が好きです。

Q3 日本で学びたいことは何ですか?

A. 日本の大衆文化、日本語などです。

Q4 将来の夢は何ですか?

A. 日本語もフランス語も使える日本の会社で働くことです。

Q5 今回の留学経験を今後の学生生活や将来にどのように生かしたいですか?

A. 将来日本で働くために、沢山の友達を作って、人的ネットワークを構築したいです。また、十分な知識や日本語力を身につけたいです。そして、学んだすべてのスキルを将来の仕事に生かしたいです。

Q6 出身地のおすすめのものは何ですか?

A. エッフェル塔、フランスパン、チーズ、美術館です。

Q7 日本の大学とフランスの大学の違いは何だと思いますか?

A. 日本の大学はキャンパスが大きく、クラブ活動などの授業外でできることが沢山ありますが、フランスでは授業があるだけで、クラブ活動などはないです。また、日本には、居酒屋やカラオケのように大学の外で学生が集まる場所が多くありますが、フランスにはそういう場所が少ないので、その違いが面白いと感じました。

Q8 最後に一言どうぞ!

A. 日本の面白い文化を教えてくださいありがとうございます!



名前: リリ・ラム (Lili Lam)
出身: ドイツ
学部: 留学生別科
学年: 3年生
年齢: 21歳

Q1 日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか?

A. ドイツで日本語を学んでいて、日本語を上手く話せるようになりたいと来てました。

Q2 なぜ日本語を学ぼうと思ったのですか?

A. 漢字に色々な意味、読み方があって面白いと思ったからです。

Q3 日本の好きな文化は何ですか?

A. ファッションと映画館です。日本のファッションはすべてがとてもスタイリッシュで、安いところが好きです。日本の映画館は、食べ物や飲み物の種類が多くあるので好きですが、ドイツに比べて値段が高いです。ドイツでは、映画によって値段が変わり、食べ物はポップコーンとナッツのみです。

Q4 将来の夢は何ですか?

A. 地理の教師になることです。

Q5 今回の留学経験を今後の学生生活や将来にどのように生かしたいですか?

A. 一人で海外に来ることが初めてなので、この経験を踏まえて自立したいです。また、日本の地理や社会構造などの知識を、夢である地理の教師になった時に生かしたいです。さらに、日本で出会った人々の振る舞いを学び、より良い人間になるために自分自身を磨いていきたいと思います。

Q6 出身地のおすすめの町はどこですか?

A. ハイデンベルクは景色が綺麗で、おすすめです。

Q7 日本人学生とドイツ人学生の違いは何だと思いますか?

A. ドイツ人はメイクをあまりしませんが、日本人は毎日しっかりメイクをしています。また、ドイツ人は勉強に時間を使っているため、全員がアルバイトをしているわけではありません。しかし、日本人のほとんどがアルバイトをしていて、授業中寝ている人もいたので驚きました。

Q8 最後に一言どうぞ!

A. みんな優しくしてくれてありがとうございます! 和食最高!





交流文化学会について知ろう!



交流文化学部の開設当初から存在する交流文化学会についてみなさんはどれくらい知っていますか?
13年目を迎えた交流文化学会をより一層盛り上げていくために、担当教員である加納先生にインタビューを行いました!

Q 交流文化学会とはどのような組織ですか?

A. 交流文化学部のすべての学生と教員からなる組織です。サークルや CCC とは違います。授業以外で交流文化学部らしい活動を学生が主体となって行うものです。

Q 過去の活動で特に印象的だったものはありますか?

A. 多くの学生が参加してくれた中部空港見学と学生の企画・運営による講演会です。それに昨年実施した留学生別科の学生に行ったオンラインの名古屋案内です。

Q これからの学会の活動について教えてください!

A. まずは組織作りをしっかりすること。そして学生から活動企画案を沢山出してもらい、いくつかを実行に移せるよう、中心メンバー(執行部)の学生と頑張ります。現在、いくつかの活動案があります。

Q 学会の活動にはどのような学生が向いていますか?

A. 活動にはすべての学部生が参加できますが、その中心メンバーとして活動するには、献身的でリーダーシップがあり、企画力がある学生がいいですね。

Q 学会の活動に参加するにはどうすればいいですか?

A. 中心メンバー(執行部)の学生としての活動を希望する学生は、現執行部の学生か私、教員の加納に声を掛けてください。大いに歓迎します。

Q 学生に向けてメッセージをお願いします!

A. 学会の活動(イベント)の案内があったら、ぜひ参加してください。中心メンバーも募集します。現在、執行部学生委員長は3年生ですが、10月に2年生に引き継ぎます。2年生で執行部に入ってくれる学生を求めます。

執行部学生委員長である井治彩花さんからメッセージをいただきました!

昨年までは新型コロナウイルス感染症の影響で、学会としての活動はできませんでしたが、今年は様々なことをしようと考えています。そして、学会では企画をするメンバーを大募集しています。興味があったらぜひ参加してみてください!

5月18日に行われた1年生のクラス委員も含めたランチミーティングでは、今後の展望と交流文化学会で活動したい学生に向けて学会への連絡方法が伝えられました。より活発な学会活動を目指して、様々な工夫がされていることが分かりました。みなさんも学会の活動に注目し、一緒に盛り上げていきましょう!
加納先生、井治さん、ご協力ありがとうございました!

本と人を通して学ぶ「読書会」って?

みなさんは学内で行われている読書会を知っていますか?
今回は、昨年の夏から読書会を始めた二文字屋先生と実行委員の学生2名にインタビューを行いました!

二文字屋先生

Q 先生が学生の頃はどのような読書会をされていましたか?

A. 3、4年生で授業だけでは物足りなくなった時に、信頼できるゼミの先生に選んでもらった本について小規模で議論をする読書会をしていました。

Q その読書会を通してどのような学びがありましたか?

A. 講義で得られる知識や情報の「点」を、知恵に変換し「線」で結ぶ作業ができたことは学びになりました。自分の意見を表明できる場所があることで、自分の世界が広がっていくことに楽しさを感じました。

Q どんな学生に読書会に参加してほしいですか?

A. 日頃本を読まない人です。SNS やネットニュースなどの短文の中で生きている人が多い今こそ、厚みのある人間になるために長文に挑戦してほしいです。苦手克服の場として読書会をぜひ利用してください。

Q 今の学生にメッセージをお願いします!

A. 思いっきり「無駄なこと」をしてほしいです。未来が見通せない中で、今、何が将来に役立つか役立つかないかは誰にも分かりません。だからこそ、時間がある大学生活の中で、積極的に「無駄なこと」をして引き出しを増やしてください。

読書会実行委員

3年 奥平咲紀さん
本田早伽さん



Q 読書会を始めようと思った理由は何ですか?

A. 以前から本を読んで誰かと共有することが好きで、掘り下げ方によって自分の知らない事実や考え方に会えることに面白さを感じていました。色々な価値観を持った人がいる大学でこそ自分とは違う世界観を持った人と交流したいと思い、始めました。(本田さん)

Q 読書会ではどんなことをしていますか?

A. 1冊の本を参加者全員で読み、それぞれが引っかかったところや疑問などをみんなで議論しながら、深掘りしています。

Q これまでの読書会の感想や学びを教えてください。

A. 普段は自分が選ばないテーマの本を読むので、内容から学ぶことが多いです。また、人の意見や解釈を聞いて自分になかった考えを知ること、自分の考えに加えて違う視点でも物事を考えられるようになりました。(奥平さん)

Q 今後は読書会をどのような場所にしたいですか?

A. 誰でも気軽に参加できて、新しい価値観に出会える場所にしていきたいです!

今号は私たちが
作りました!

交流文化だより 大宮 佳瑚 (3年)、宮澤 怜奈 (3年)、佐々木南奈 (2年)
編集委員 新美 羽奈 (3年)、後藤 あい (2年)、都築 風心 (2年)